

1. 研究目的

2023年度の静岡理科大学卒業論文発表会では、山岸研究室において「自己情報量」を指標としたレビューサイトの分析が注目をされていた。本研究では、この評価手法を活用した飲食店レビューサイト「食べログさまー ランキング」を開発し、評価方法のわかりやすさやサクラ・Bot対策の効果を視覚的に検証することで、一般の利用者を含め、「自己情報量」という指標の有用性を広く周知することを目的とする。

2. アプリケーション概要

本研究で開発した、「食べログ」を参考としたサイトには、大きく4つの機能がある。まず、1つ目に、「食べログ」から情報を取得する機能がある。この機能は「店舗検索」(図1)、「ユーザ検索」(図2)に細分化され、評価の取得、変換を行い、データベースへと格納することができる。

検索結果	
shizuoka/A2202/A220201/22043161/	
No data	
shizuoka/A2202/A220201/22043161/	
さわやか浜松西インター店	
ファミレス、ハンバーグ、ステーキ	
053-488-5911	
shizuoka/A2202/A220201/22043161/に評価してくれたユーザー一覧	
No data	

図1 店舗検索の様子

検索結果		
003809231		
shizuoka/A2203/A220301/22018484/	0.0000	2017/08
aichi/A2301/A230112/23000063/	0.0000	2017/09
shizuoka/A2203/A220301/22009411/	1.1087	2017/12
shizuoka/A2202/A220201/22000099/	0.4054	2018/01
shizuoka/A2202/A220203/22025837/	-1.6094	2018/02
shizuoka/A2202/A220202/22004534/	1.1087	2018/03
shizuoka/A2202/A220201/22019923/	0.2162	2018/03
tokyo/A1315/A131501/13018507/	0.9676	2018/04
shizuoka/A2202/A220201/22032126/	0.0000	2018/09
niigata/A1501/A150101/15016019/	-0.8109	2018/09

図2 ユーザ検索の様子

2つ目に、変換した評価を表示する機能がある。この機能は格納したデータを1か月前と当月で表示させ(図3)、下部に評価の推移を示すグラフを表示させる機能である(図4)。



図3 店舗詳細ページ



図4 店舗の評価推移

3つ目に、特定の店舗に対して評価操作を行う機能がある。この機能は、店舗を選択し、その店舗に対して100人のユーザから低評価を送り込むことで、自己情報量の有用性をわかりやすく伝えることができる。ページでは評価操作前と評価操作後の評価を表示させ(図5)、評価が変わらない事を確認できる。

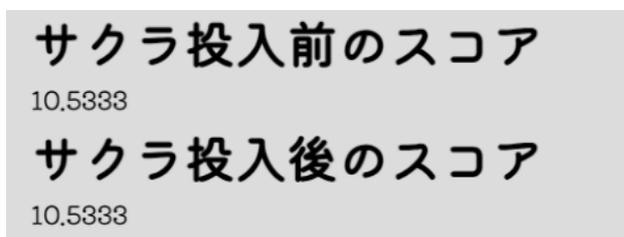


図5 サクラ検証機能の結果

4つ目に、店舗の直近のコメントを分析し、カテゴリごとに分ける機能がある。この機能は、自己情報量の特徴を活用した機能であり、店長や社員がどの部分に注目して店舗の改良をすればよいかを解決する目的で開発された機能である。

3. 成果と課題



これは本サイトの評価であるが、「食べログ」で分かりにくかった評価に差が出ている事が確認できる。

本サイトを扱う事で、これまで説明の難しかった「自己情報量」という指標を、少しでもわかりやすく伝えることができたのではないかと考える。ただ、4つ目の機能が機能の問題もあり、少し中途半端に終わってしまった事が課題である。